

2027年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

2026年8月14日発表
株式会社リニカル

連結業績

単位：百万円、%	2026年3月期1Q実績		2027年3月期1Q実績		
	金 額	売上比	金 額	売上比	対前年 増減率%
売 上 高	2,626	100.0%	1,912	100.0%	△27.2
売 上 原 価	1,917	73.0%	1,857	97.1%	△3.1
販 管 費	813	31.0%	775	40.5%	△4.6
営 業 利 益	△104	△4.0%	△719	△37.6%	—
経 常 利 益	△164	△6.3%	△700	△36.6%	—
四半期純利益	△176	△6.7%	△636	△33.3%	—

■売上高：
前年同期比で、韓国、台湾が新規案件獲得等により増収となったが、日本、米国、欧州の減収により連結で減収

■営業利益：
米国、欧州が減収により営業赤字化、日本も営業赤字が継続した影響で連結で営業赤字が継続

地域別業績

単位： 百万円	2026年3月期1Q実績			2027年3月期1Q実績					
	売上高**	営業利益	経常利益	売上高**	増減率%	営業利益	増減率%	経常利益	増減率%
日本	960	△104	△98	890	△7.2	△250	—	△217	—
米国	1,228	100	115	460	△62.5	△230	—	△231	—
欧州	954	40	△1	636	△33.2	△209	—	△213	—
韓国	134	△44	△83	257	90.6	62	—	60	—
台湾	36	1	△1	74	102.8	13	955.5	13	—
中国	45	1	1	46	1.7	△15	—	△17	—
連結調整*	△733	△98	△96	△452	—	△89	—	△95	—
合計	2,626	△104	△164	1,912	△27.2	△719	—	△700	—

*のれんの償却費用は連結調整に含めております **売上高は内部取引控除前の数値となっております

地域別状況

■ 日本：

厳しい市場環境に加え、既存案件の規模縮小による契約変更が発生した影響等もあり前年同期比で減収、営業赤字

■ 米国：

複数の大型国際共同治験の受注内諾を得て契約締結手続きを進めているところ、米国での政府機関閉鎖等の影響で中断していた既契約の一部は工数追加の契約変更の上で再開されて売上高にも寄与したが、その他の部分については下期の開始に向けて契約内容を調整中であり、前年同期比で減収、営業赤字

■ 欧州：

複数の大型国際共同治験が米国で再開した一方で、欧州での本格稼働は第2四半期以降となること等から前年同期比で減収、営業赤字

■ アジア：

韓国：複数の既存案件でプロジェクトの進捗が想定を上回ったため前年同期比で増収、営業黒字化

中国：前年同期比で僅かに増収となったが、利益面では営業赤字

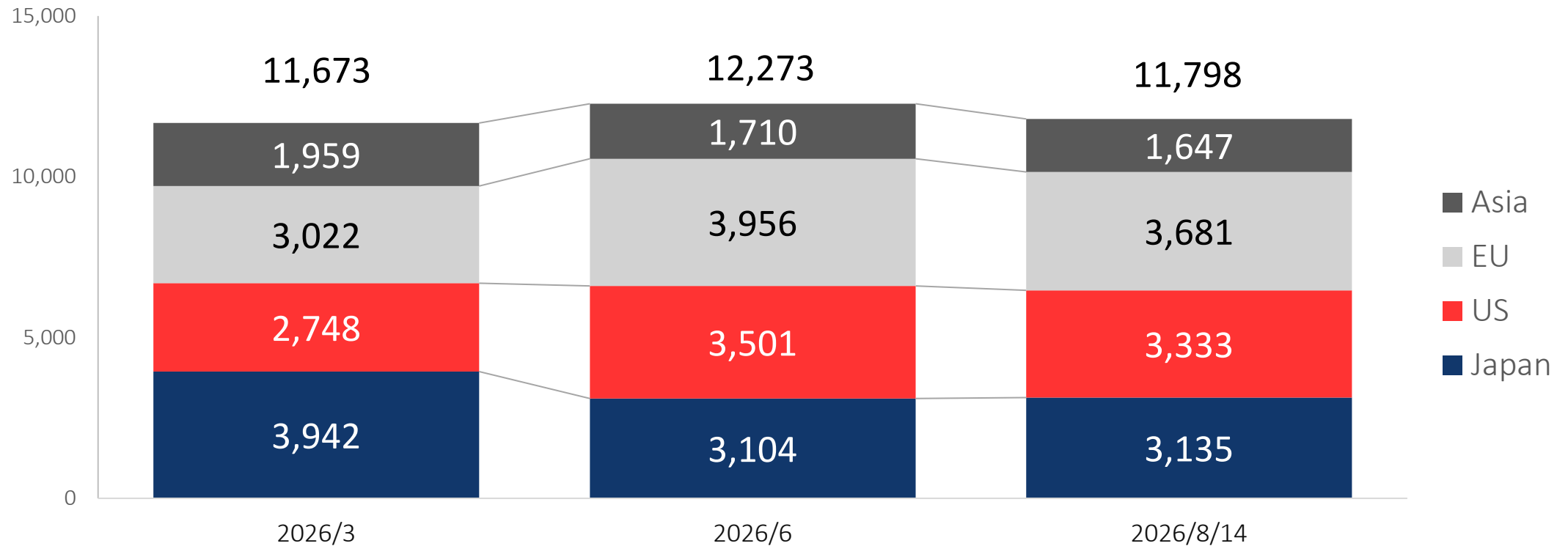
台湾：新規案件の獲得等により前年同期比で増収増益

地域別受注残高

※受注残高: 既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高

今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標

(単位: 百万円)



- 2026年8月14日時点の受注残高は2026年3月期末と比較して1.1%増の117億円となった

地域別受注残高の状況

■ 日本：

- 既存案件の受注残を順調に消化するとともに工数減少の契約変更が発生したことにより、2026年3月期末対比で受注残高減少
- 直近では日系製薬会社から米国、欧州を含むグローバル試験の受注内諾を得るなど、受注残高にはまだ反映されていない成果を獲得

■ 米国：

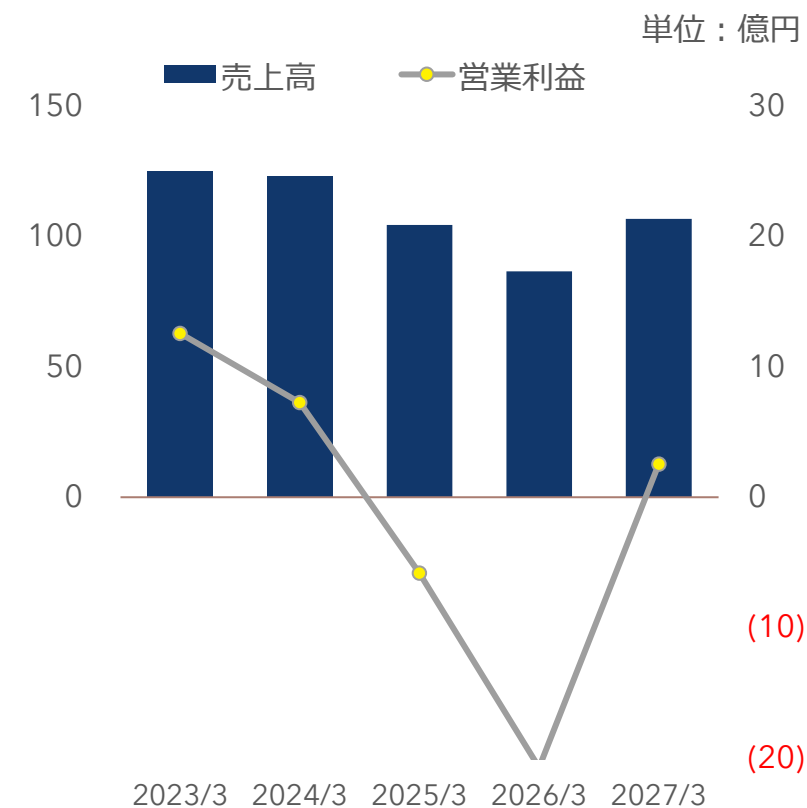
- 前期に受注した米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験の工数増加の契約変更が完了したことや、新規案件の契約完了等により、2026年3月期末対比で増加
- 直近でも米国で実施される新規案件の内諾を受けるなど、米国バイオテックを中心にグローバル案件を含む多数の案件の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく営業活動に注力

■ 欧州：

- 米国が受注した大型国際共同治験の工数増加の契約変更が完了したことに加え、主に欧州で実施される新規案件の契約が完了したこと等により、2026年3月期末対比で増加
- 米国事業を中心にグローバル・シナジーをさらに強化することで、新規案件の受注獲得を図る

通期計画

単位： 百万円	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		
	金額	売上比%	金額	売上比%	対前年 増減率%
売上高	8,665	100.0	10,680	100.0	23.2
営業利益	△2,073	△23.9	256	2.4	—
経常利益	△2,023	△23.3	250	2.3	—
当期純利益	△3,329	△38.4	180	1.7	—
	金額（円）	配当性向 （%）	金額（円）	配当性向 （%）	
1株配当額	8.00	—	8.00	100.4	



米国と欧州の回復及びアジアの成長により、増収・黒字化を見込む
1株当たり配当額は2026年3月期と同額の予定

本資料に掲載されている、計画、予想、戦略等のうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、
現在入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、過度
の信用を置かれませぬようお願いいたします。

掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当
社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。ま
た、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に
関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い
いたします。

新薬に、翼を。